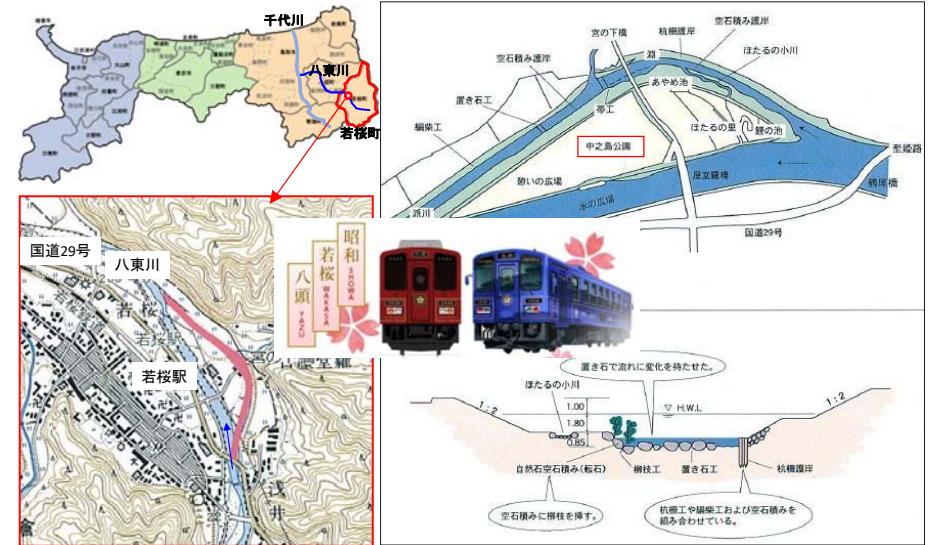


はつとう 八東川における 地域との連携・協働による 憩いの水辺づくり



やず
鳥取県 八頭県土整備事務所
河川砂防課 林 照悟

八東川と若桜町の概要

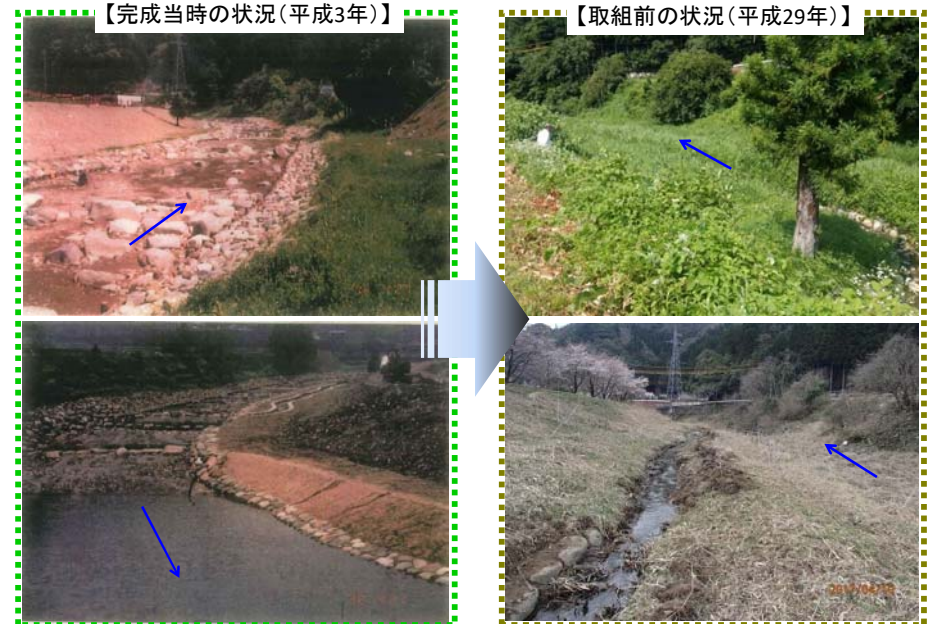


□八東川は、鳥取県東部を流れる一級河川千代川に注ぐ幹線流路延長39.1km、流域面積417.3km²の河川です。
 □八東川の上流に位置する八頭郡若桜町は、人口約3,100人の町です。
 □今回の取組みの舞台は、平成3年に多自然川づくりが行われた若桜町中心部の中之島公園の隣接部に位置します。

発表の流れ

- (1) 八東川と若桜町の概要
- (2) 現状と取組みのきっかけ
- (3) 地域との連携・協働のかたち
- (4) 当初計画(憩いの水辺づくり全体イメージ)
- (5) 西日本豪雨等による計画変更
- (6) 施工時の工夫
- (7) 工事完成
- (8) 今後の展開

現状と取組みのきっかけ



現状と取組みのきっかけ

(ホタル鑑賞会)

(わかさ清流まつり)



地域との連携・協働のかたち

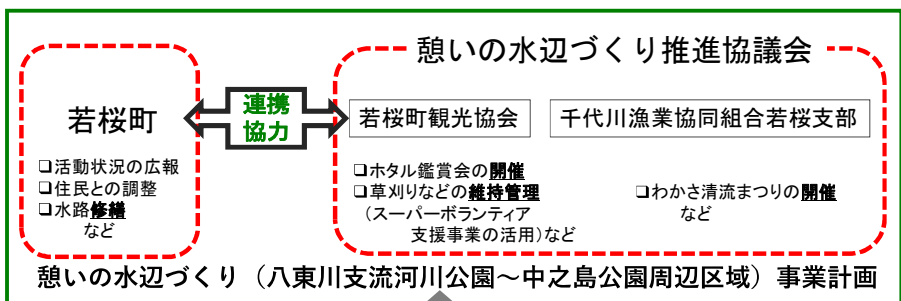
〇憩いの水辺づくり (八東川支流河川公園～中之島公園周辺区域) 事業計画

事業項目	実施主体	実施時期	実施内容
草刈りなどの維持管理	若桜町観光協会	年2回 (5月、8月)	面積約8.760㎡(L630m×W12m、L200m×W6m)。スーパーボランティア支援事業活用
ホタル鑑賞会の開催	若桜町観光協会	6月中旬～下旬	2週間で2,000～3,000人を動員
わかさ清流まつりの開催	千代川漁業協同組合若桜支部	8月中旬の日曜日	放流したニジマスの釣り、つかみ取り、約500人参集
遊歩道及び低水護岸の整備	八頭県土整備事務所(河川管理者)	平成30年度	安全にホタルを観賞したり水辺で憩うことができるよう河川公園～中之島公園周辺の河川内に延長約550m、幅約2.5mの遊歩道を整備するとともに、宮ノ下橋付近に低水護岸を整備
堰の補強	八頭県土整備事務所(河川管理者)	平成30年度	既存の6箇所自然石の堰が不十分のため、自然石で補強
水路修繕	若桜町(水路管理者)	令和元年度	八東川支流の水量を確保するため、浅井集落からの流水を支流に導入
河床改良	八頭県土整備事務所(河川管理者)	平成30年度	河川公園の水路の取水口(鶴尾橋付近)から取水できるよう河床を改良

【憩いの水辺づくり推進協議会】

- 平成29年4月10日 第1回協議会 ……協議会立ち上げ
- 平成29年6月2日 第2回協議会・現地打合せ ……計画検討
- 平成29年7月20日 第3回協議会・現地打合せ ……計画検討
- 平成29年9月1日 第4回協議会 ……計画整理及び役割分担

地域との連携・協働のかたち



河川管理者としての支援

鳥取県八頭県土整備事務所 (河川管理者)

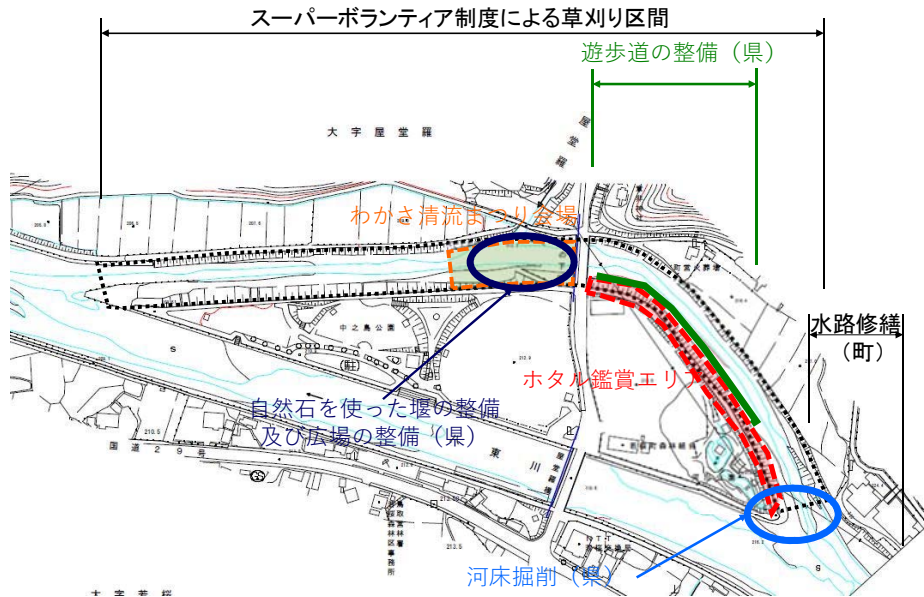
- 遊歩道の整備及び低水護岸補修
- 自然石を用いた堰の補強
- 部分的な河床掘削 など

★公共空間を活用して行う地域づくりや賑わい創出を目的とした土木施設の維持管理活動を行っている団体をスーパーボランティアとして認定し、維持管理費及び維持管理した施設を活用するために設置する簡易な施設の設置などについて、県が支援を行います。

地域との連携・協働のかたち



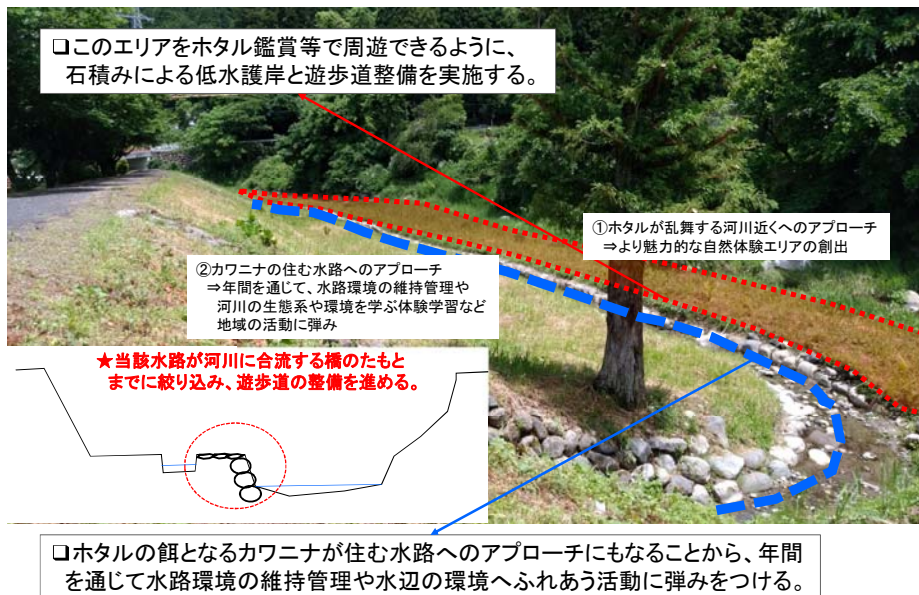
当初計画(憩いの水辺づくり全体イメージ)



当初計画(堰の補強イメージ)



当初計画(遊歩道整備のイメージ)



地域活性化・まちづくりへの県の支援体制

【ふるさとまちづくり支援事業(県民と協働するかわづくり)の目的と具体的な支援内容】

- 河川管理者として、河川景観や自然体験エリア等の地域資源を創出・再生するお手伝いをして、地域の活動に弾みをつけるきっかけとする。
- 水際へのアプローチ施設や景観上支障となる立木の伐採など、地域住民だけでは対応できない作業を支援する。

目的と期待する効果が合致！！！！

【当該計画箇所における遊歩道整備等に期待する効果】

- 遊歩道を整備することにより、季節になると多くのホタルが乱舞する河川近くまで来訪者を安全に誘導し、より魅力的な自然体験エリアを創出することが出来る。
- 遊歩道を整備することにより、ホタルの餌となるカワニナが生息している水路(水際)へのアプローチが容易となり、ホタルの鑑賞時期だけでなく、年間を通じてカワニナが繁殖する水路環境の維持管理や水辺の環境へふれあう活動に弾みをつけることが出来る。

整備効果と当該事業の目的が合致する区間に絞り込み、必要最小限の整備を実施する！！

西日本豪雨等による計画変更

□西日本豪雨により、高水敷が洗われ、既存の石畳が姿を見せた。
 □ホタルの小川が完全に埋塞したため、その復旧を実施した。
 ■ 既設石畳風遊歩道及び低水護岸修繕
 ■ 巨石飛び石
 □ホタルの小川の復旧
 ■ 石畳風遊歩道整備
 □ホタルの出現エリアも広がったことから、補修も含め遊歩道整備区間を延伸した。
 □西日本豪雨の状況を踏まえ、河床掘削を取止めた。
 □災害復旧工事との調整を行った。

工事完成

■ 石畳風遊歩道整備
 ■ 木路(ホタルの小川)復旧
 ■ 既設石畳風遊歩道及び低水護岸修繕
 ■ 巨石飛び石

施工時の工夫

120~150cm
 10cm以上
 モルタル(1:3)

□洪水等に耐えるようにモルタルで石の隙間を充填し、固める構造とした。
 □石張りは、大小の石を混ぜて乱張りにする。
 □石畳風遊歩道の表面は、できるだけ平らな面になるように張る。

①景観を最重視し、造園業者へ工事発注

②施工上の工夫により、コストを縮減

□コスト縮減のため、西日本豪雨で流れてきた巨石を用いた飛び石

工事完成

5/20 @ 6/3 @ ホタル観賞に向けたボランティア活動



▲大量の刈り取った草を集荷する観光協会会員

鳥取県のスーパーボランティア団体※である若桜町観光協会は、平成29年から八東川(古川) 河川公園・中之島公園周辺と三倉川(馬橋下流域)の利活用(ホタルの生息環境整備)のため、年2回の草刈りを中心に河川環境の整備を続けています。

昨年7月の豪雨災害の影響があったのか、今年は例年のように多くのホタルが舞う姿を見ることができませんでした。若桜町観光協会では、来年に向けて河川環境を整備し、ホタルの季節に若桜町への来訪者が増えることを期待しています。

8/11 @ 第11回わかさ清流まつり「ニジマス釣り大会」



▲つかみ取りを楽しむ家族連れ



▶受賞された参加者

中之島公園河川敷で第11回わかさ清流まつり「ニジマス釣り大会」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、帰省の合間に訪れた方や夏休み中の子どもたちなど町内外から約500名が参加されました。釣り大会では54cmのニジマスを釣り上げた方に大物賞が、17cmのニジマスを釣り上げた方には小物賞が贈られました。釣り大会の後は小学生以下の子どもたちを対象としたつかみ取りが開催され、多くの子どもたちの歓声が響きました。若桜の特産品などが当たる抽選会も開かれ、会場は大いににぎわいました。

～若桜町広報誌より抜粋～

今後の展開 (多自然川づくりと地域活性化の好循環)

『河川環境学習』や『防災学習』
の場としての整備



【横瀬川・親水公園／智頭町中原】

『地域住民の交流活動』や
『地域おこし活動』の支援



【八東川・河川公園／若桜町若桜】

★自然環境が残る中山間地域では、色々な視点を
加えた地域との連携・協働による多自然川づ
くりは、地域の持続的発展の鍵の一つ。

★「既存施設や自然環境の活用」と「維持管理の
継続」も期待できる。



【八東川・若桜町庄ノ瀬】



ご清聴ありがとうございました。